

令和7年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

◆全国学力・学習状況調査

【成果と課題】

<国語>「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題は、全国平均に比べ+1.7であった。「話すこと・聞くこと」に関する問題は、全国平均に比べ-6.1であった。「書くこと」に関する問題は、全国平均に比べ-5.4であった。「読むこと」に関する問題は、全国平均に比べ-1.8であった。「知識・技能」に関する問題は、全国平均に比べ+1.7であった。「思考・判断・表現」に関する問題は、全国平均に比べ-4.7であった。「選択式」に関する問題は、全国平均に比べ-3.1であった。「短答式」に関する問題は、全国平均に比べ+0.5であった。「記述式」に関する問題は、全国平均に比べ-7.4であった。

<数学>「数と式」に関する問題は、全国平均に比べ-4.8であった。「図形」に関する問題は、全国平均に比べ-3.5であった。「関数」に関する問題は、全国平均に比べ+1.9であった。「データの活用」に関する問題は、全国平均に比べ-7.7であった。「知識・技能」に関する問題は、全国平均に比べ-3.6であった。「思考・判断・表現」に関する問題は、全国平均に比べ-4であった。「選択式」に関する問題は、全国平均に比べ-6.3であった。「短答式」に関する問題は、全国平均に比べ-2.8であった。「記述式」に関する問題は、全国平均に比べ-3.4であった。

<理科>「エネルギー」に関する問題は、全国平均に比べ±0であった。「粒子」に関する問題は、全国平均に比べ+0.7であった。「生命」に関する問題は、全国平均に比べ-0.8であった。「地球」に関する問題は、全国平均に比べ+0.8であった。「知識・技能」に関する問題は、全国平均に比べ+0.8であった。「思考・判断・表現」に関する問題は、全国平均に比べ-0.2であった。「選択式」に関する問題は、全国平均に比べ-0.6であった。「短答式」に関する問題は、全国平均に比べ+15.8であった。「記述式」に関する問題は、全国平均に比べ-0.3であった。

【今後に向けて】

<国語>「国語の勉強は好きですか」「国語の授業内容はよく分かりますか」の生徒質問に対して、肯定的な評価が全国平均を上回ったにもかかわらず、平均正答率は全国平均を下回った。特に「話すこと・聞くこと」、「思考・判断・表現」、「記述式」に関する問題で、特に全国平均との差があるため、これらの分野を伸ばす取り組みが必要である。

<数学>「数学の勉強は好きですか」「数学の授業内容はよく分かりますか」の生徒質問に対して、肯定的な評価が全国平均を上回ったにもかかわらず、平均正答率は全国平均を下回った。特に「データの活用」、「思考・判断・表現」、「選択式」に関する問題で、特に全国平均との差があるため、これらの分野を伸ばす取り組みが必要である。

<理科>「理科の勉強は好きですか」「理科の授業内容はよく分かりますか」の生徒質問に対して、肯定的な評価が全国平均を下回ったにもかかわらず、平均正答率は全国平均を上回った。特に「生命」、「思考・判断・表現」、「選択式」に関する問題で、特に全国平均との差があるため、これらの分野を伸ばす取り組みが必要である。